

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立長橋小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	西成区
学 校 名	大阪市立長橋小学校
学 校 長 名	関之尾 文雄

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立長橋小学校では、第6学年 20名

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市内立長橋小学校の結果概要

本年度の平均正答率は、国語・算数いずれの教科も全国平均・大阪市平均を下回る結果となった。無回答率は、全国平均・大阪市平均より算数は低かったが、国語は高い結果となった。国語では、文章を読んで理解したことに基づいて考えをまとめる問題の正答率は高かった。一方、漢字など言葉の特徴に関する問題に課題があった。算数では、『測定』の問題の正答率は高かった。一方、資料から情報を読み取る『データの活用』の問題に課題があった。児童質問紙における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対する肯定的な回答も、全国平均・大阪市平均を大きく上回った。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】平均正答率は、全国平均・大阪市平均より下回る結果となった。特に『言葉の特徴や使い方』において、漢字や言葉の特徴について課題があった。無回答率も全国平均・大阪市平均より高い結果となっているため、活用できる漢字や言葉などを定着させ増やしていく必要がある。また、自分の考えを相手に伝えるように理由や事例を挙げたり、表現を工夫したりする『話すこと・聞くこと』に関しても課題があった。そのため、日頃から自分の考えを表現できる場を多く設定し、積み重ねていく必要があると考えられる。

【算数】平均正答率は、全国平均・大阪市平均より下回る結果となった。特に、基準量、比較量、割合の関係を活用して求める『変化と関係』の問題において正答率が低く課題があった。一方、体積を求める『図形』の問題や、条件に合わせて小数をつくる『数と計算』の問題については、全国平均・大阪市平均より下回る結果となっているものの正答率は高い結果だった。計算や図形の領域の強みを伸ばすとともに、数量の関係やデータの活用について定着させていく必要がある。算数の無回答率は全国平均・大阪市平均より低い結果だった。算数の問題に対して粘り強く考える力は身に付いている。

質問調査より

「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」の質問に対する肯定的な回答は、全国平均・大阪市平均を上回った。特に、「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」は、最も肯定的に回答する児童の割合は42.9%で全国より高い結果となった。児童に寄り添い、児童の悩みや不安の解消を心がけてきた教職員の関わりがもたらす成果だといえる。一方、話し合う活動を通じて考えを深めたりすることに関する質問については、全国平均・大阪市平均を下回っているため、今後も話し合い活動を充実させていく必要がある。

今後の取組（アクションプラン）

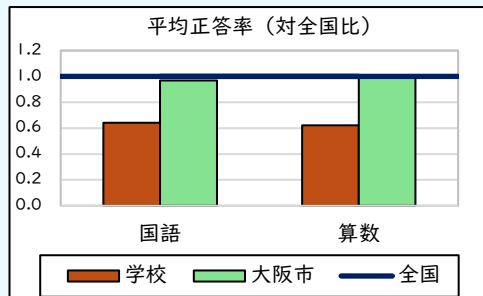
教科学習での充実を図るとともに、様々な教育活動をとらして自己肯定感を高めるとともに、達成感や満足感を味わうことのできる学びの場を設定し、学力向上につなげていきたい。

- ・自己肯定感の醸成を進めていくため、「学校規模ポジティブ行動支援（SWPBS）」の取組を推進する。
- ・主体的・対話的な学びを実現する授業実践と、そのための授業研究を深めていく。
- ・エビデンス（非認知能力調査モデル事業・各種アンケート・算数チャレンジ）を活用する。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

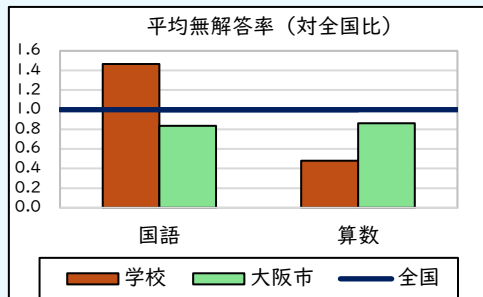
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	39	35
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



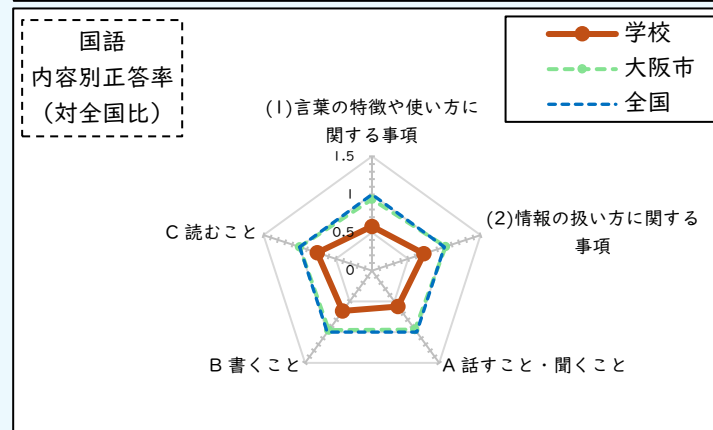
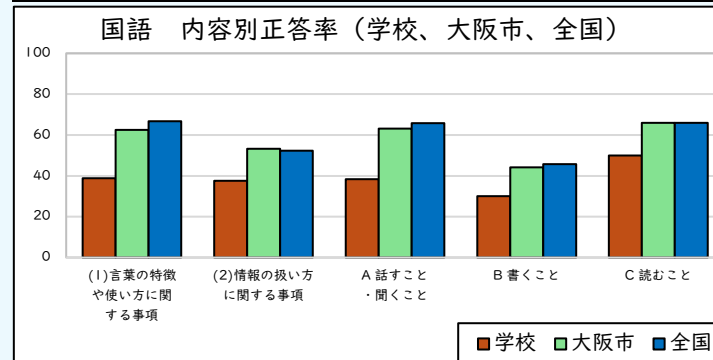
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	5.0	1.5
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



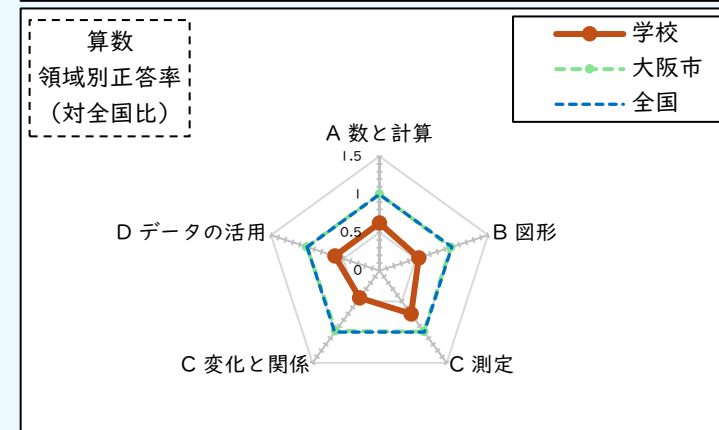
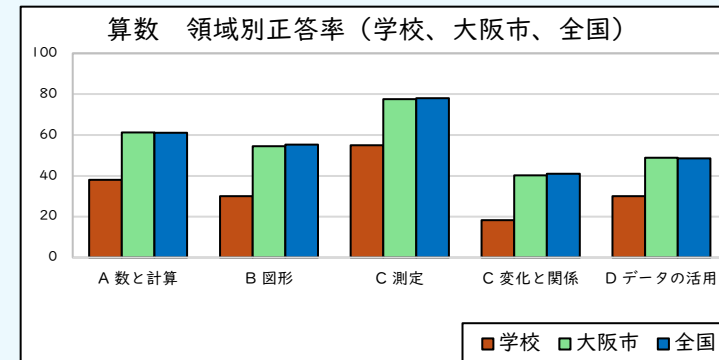
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	4	38.8	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	37.5	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	38.3	63.1	65.8
B 書くこと	2	30.0	44.2	45.7
C 読むこと	2	50.0	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	38.1	61.2	61.1
B 図形	4	30.0	54.5	55.3
C 測定	1	55.0	77.5	78.1
C 変化と関係	3	18.3	40.3	41.1
D データの活用	4	30.0	48.8	48.6



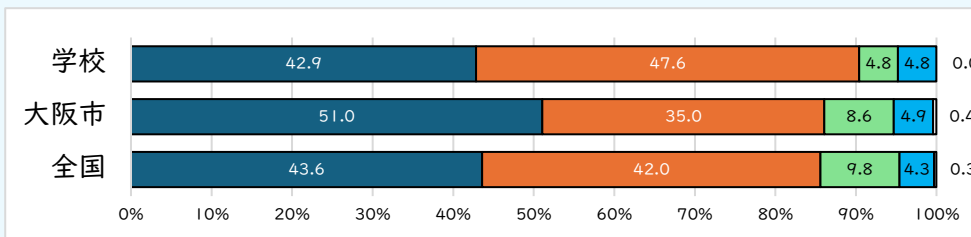
令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

■1 ■2 ■3 ■4 ■5 ■6 ■7 □その他・無回答

質問番号 質問事項

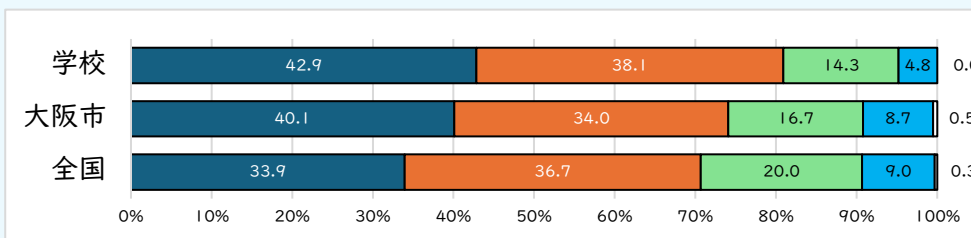
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(8) 自分には、よいところがあると思いますか



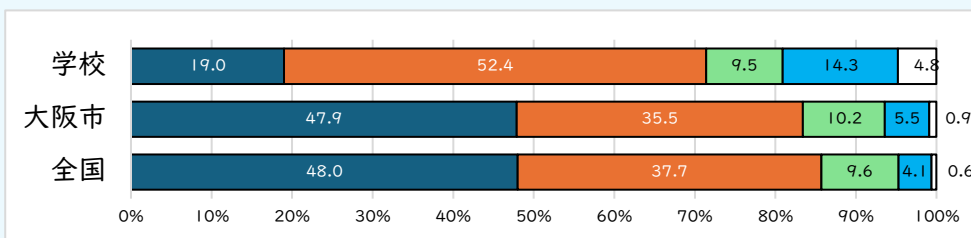
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(13) 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



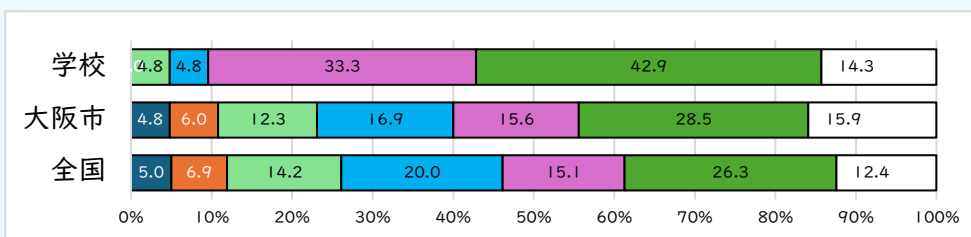
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(15) 学校に行くのは楽しいと思いますか



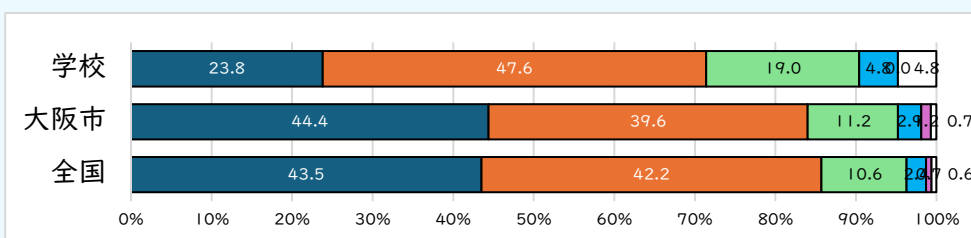
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(26) 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



1 2時間以上
2 1時間以上、2時間より少ない
3 30分以上、1時間より少ない
4 10分以上、30分より少ない
5 10分より少ない
6 全くしない

(42) 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない
5 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

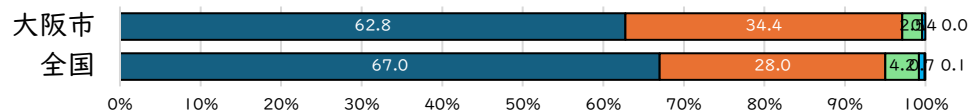
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(13)

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童が相談したい時に相談できる体制となっていますか

【学校の回答】 1 そう思う

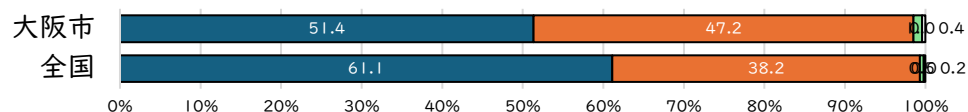


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(19)

学校運営上の課題への対応に当たっては、各教職員（支援スタッフを含む）の専門性を活かせるよう適切な役割分担や連携協働をしていますか

【学校の回答】 1 そう思う

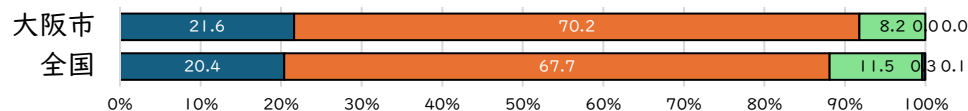


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(26)

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

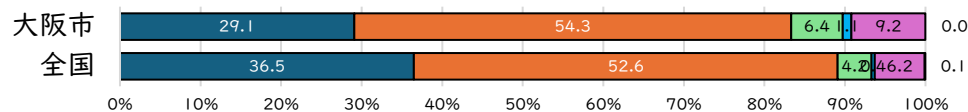


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(79)

コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解が深まりましたか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

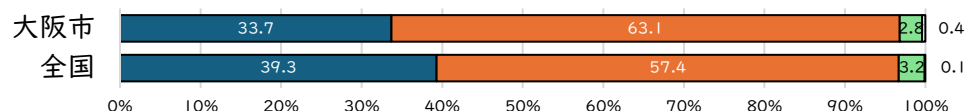


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない
5 取組を行わなかった

(84)

令和7年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか

【学校の回答】 2 行った



1 よく行った
2 行った
3 ほとんど行わなかった